

かんたんレイアウト作成オプション Excel テンプレート

1. Excel テンプレート	2
1-1. 概要	2
1-2. シート構成	2
2. 帳票レイアウト設計	3
2-1. オブジェクト種別	3
2-2. シート設定	3
2-3. セルの書式設定	4
2-4. 図形の書式設定	6
2-5. 図形の書式設定（画像）	6
3. 変数オブジェクト	8
3-1. 変数定義	8
3-2. セル変数	8
3-3. テキストボックス変数	12
3-4. 画像変数	15
3-5. テーブル変数	16
3-6. テーブル集計値	26
4. 書式変換規則	29
4-1. 書式変換シート [Create!FormKLS]	29
4-2. フォント変換テーブル [Create!FormFontTable]	29
4-3. 表示形式変換テーブル [Create!FormEFmTable]	30
4-4. 書式変換シート [Create!FormKLS] の指定	32
5. 制限事項	33

1. Excel テンプレート

1-1. 概要

かんたんレイアウト作成オプションを利用した帳票開発では、帳票レイアウトの設計に従来の Form エディタは使用せず、Excel ファイルを用います。この帳票レイアウト設計用の Excel ファイルを Excel テンプレートと呼びます。

1-2. シート構成

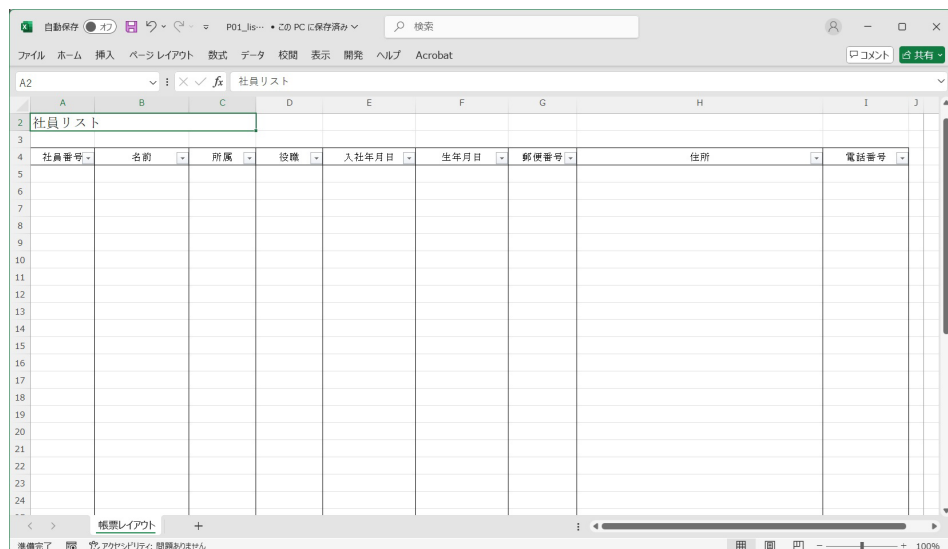
Excel テンプレートは以下の Excel シートで構成されます。

〔帳票レイアウト〕シート

■〔帳票レイアウト〕シート

〔帳票レイアウト〕シート上には、セルの文字列、セルの罫線や背景色などの書式設定、テキストボックス（図形）、正方形／長方形（図形）、線（図形）、画像、テーブルを用いて帳票レイアウトを設計してください。また、セルの文字列、テキストボックスの文字列、画像の代替テキスト、テーブル名に「CFV+ 変数名」を設定することで、変数として扱うこともできます。帳票レイアウト設計と変数定義の詳細は「2. 帳票レイアウト設計」「3. 変数オブジェクト」をご覧ください。

図：〔帳票レイアウト〕シート



2. 帳票レイアウト設計

2-1. オブジェクト種別

Excel テンプレートの「帳票レイアウト」シートには、以下のオブジェクトを用いて帳票レイアウトを設計してください。

■変換対象オブジェクト

- セルの文字列
- セルの罫線
- セルの背景色
- テキストボックス（図形）
- 正方形／長方形（図形）
- 線（図形）
- 画像（セルの上に配置された画像）
- テーブル

これらのオブジェクトは、「かんたんレイアウト作成オプション資源変換」の実行により、Create!Form ランタイムで出力可能なオブジェクトに変換されます。上記以外の Excel 機能を用いた設定は出力される帳票に反映されませんのでご注意ください。

■変換対象外 Excel 機能の一例

- グラフ
- コントロール
- ヘッダー
- フッター
- コメント
- テキストボックス、正方形／長方形、線以外の図形
- グループ化された図形
- 画像（セル内に配置された画像）
- グループ化された画像

2-2. シート設定

「帳票レイアウト」シートに設定された各種設定は、「かんたんレイアウト作成オプション資源変換」の実行により、Create!Form ランタイムで出力可能なフォーム設定として、以下の通り反映されます

■ページ設定ーサイズ

Excel	Create!Form
A4	→ A4
A3	→ A3
A5	→ A5
B4	→ B4
B5	→ B5
Letter	→ Letter
Tabloid	→ Tabloid

Legal	→ Legal
ハガキ	→ Hagaki
A4small	→ A4
LetterSmall	→ Letter
その他	→ Free

※同一の用紙サイズが Create!Form にある場合は当該の用紙サイズが設定されます。

※変換後の Create!Form の用紙範囲に入る内容を変換します。

※1 ページ目に含まれる内容のみ変換します。

■ページ設定一余白・拡大縮小印刷

Form のページ設定として適用されます。

2-3. セルの書式設定

[帳票レイアウト] シート上のセルに設定された書式設定は、[かんたんレイアウト作成オプション資源変換] の実行により、Create!Form ランタイムで出力可能なオブジェクト設定として、以下の通り反映されます。

■セルの書式設定一罫線（線種）

Excel	Create!Form
なし	→ なし
細線	→ 直線
中線	→ 直線
破線	→ 破線 1
点線	→ 破線 2
極太線	→ 直線
太線	→ 直線
極細線	→ 直線
中破線	→ 破線 1
一点鎖線	→ 一点鎖線
中一点鎖線	→ 一点鎖線
二点鎖線	→ 二点鎖線
中二点鎖線	→ 二点鎖線
一点鎖斜線	→ 一点鎖線

※すべての線種においてカラー対応しています。

■セルの書式設定一フォント

Excel	Create!Form 対応
MS ゴシック	→ MS ゴシック ○
MS P ゴシック	→ MS ゴシック △
MS 明朝	→ MS 明朝 ○
MS P 明朝	→ MS 明朝 △
Courier	→ Courier ○
Bookman	→ Times Roman △
Helvetica	→ Helvetica ○
NewCenturySchlbk	→ Times Roman △
Palatino	→ Times Roman △

Symbol	→ Symbol ○
Times	→ Times Roman ○
ZapfChancery	→ Courier △
ZapfDingbats	→ ZapfDingbats △
その他	→ MS 明朝

注：「対応」に△がついている場合、その Excel フォントについては、Create!Form のフォントに変換した際に文字列幅及び位置の差異が発生する可能性があります。

※すべての Excel フォントについて、カラー対応しています。

※斜体、下線は対応していません

※対応外のフォントは、MS 明朝に変換されます。

[かんたんレイアウト作成オプション資源変換]では、[帳票レイアウト]シート上で設定されたフォントを、Create!Form ランタイムで出力するフォントに変換するための規則を登録することができます。詳細は、「4. 書式変換規則」をご覧ください。

■セルの書式設定－フォントサイズ

[帳票レイアウト]シートのページ設定に応じて変換されたサイズが適用されます。

■セルの書式設定－配置（横位置）

Excel	Create!Form
標準	→ 左
左詰め	→ 左
中央揃え	→ 中央
右詰め	→ 右
繰り返し	→ 左
両端揃え	→ 左
選択範囲内で中央	→ 中央
均等割り付け	→ 左
デフォルト	→ 左

■セルの書式設定－配置（縦位置）

Excel	Create!Form
上詰め	→ 上
中央揃え	→ 真中
下詰め	→ 下
両端揃え	→ 真中
均等割り付け	→ 上
デフォルト	→ 真中

■セルの書式設定－配置（インデント）

セルに設定されたインデントは、テキストの出力開始位置として反映されます。

■色

罫線、文字列、塗りつぶしにおいてカラーに対応しています。

Excel テンプレートを資源変換して作成した Form ファイルのカラーパレットは「Excel.plt」が使用されます。

※変換される文字列の最大個数は 3000 個です。これは Create!Form の 1 ページあたりの推奨最大オブジェクト数です。

<< 注意 >>

セル内の一部の文字列に対して設定した書式は、Create!Form のオブジェクト設定に反映されません。変換される設定は、セル自体を選択した状態で設定された書式のみです。

2-4. 図形の書式設定

[帳票レイアウト] シート上の図形（テキストボックス、正方形 / 長方形、線）に設定された書式設定は、[かんたんレイアウト作成オプション資源変換] の実行により、Create!Form ランタイムで出力可能なオブジェクト設定として、以下の通り反映されます。

■図形の書式設定一塗りつぶし

- ・塗りつぶしなし
- ・塗りつぶし（単色）

のみ、図形（正方形 / 長方形）の塗りつぶし色として反映されます。

上記以外の設定は、塗りつぶしなしとして変換されます。

■図形の書式設定一線（枠線）

- ・線なし
- ・線（単色）

のみ、図形（正方形 / 長方形）の枠線色、図形（線）の線色として反映されます。

上記以外の設定は、図形（正方形 / 長方形）の場合には線なし、図形（線）の場合には単色黒色として変換されます。

■図形の書式設定一文字の塗りつぶし

- ・塗りつぶし（単色）

のみ、図形（テキストボックス）のフォント色として反映されます。

上記以外の設定は、単色黒色として変換されます。

■図形の書式設定一テキストボックスの余白

テキストボックスに設定された上下左右の余白は、テキスト出力位置として反映されます。

<< 注意 >>

一つのテキストボックス内の文字列に複数の異なる書式が設定された場合、テキストボックスの先頭文字列に設定された書式のみが反映されます。

2-5. 図形の書式設定（画像）

[帳票レイアウト] シート上の画像に設定された書式設定（表示上の加工を含むすべての設定）は、Create!Form ランタイムで出力するオブジェクト設定には引き継がれません。指定された元の画像ファイルがそのまま出力されます。

■画像の描画サイズ

Create!Form ランタイムで出力される画像の描画サイズは、[帳票レイアウト] シート上に配置された画像の領域に収まるよう、縦横比一定のまま自動的に拡大縮小されます。

■画像の配置

Create!Form ランタイムで出力される画像は、[帳票レイアウト] シート上の画像領域の中央に配置されます。

<< 注意 >>

[かんたんレイアウト作成オプション資源変換] の実行により、Create!Form ランタイムで出力可能なオブジェクトとして変換される画像は、[帳票レイアウト] シート上で「セルの上に配置」された画像のみです。[帳票レイアウト] シート上で「セルに配置」（セル内に配置）された画像は変換されません。

3. 変数オブジェクト

3-1. 変数定義

〔帳票レイアウト〕シートに入力データを出力するための変数を定義するには、

- ・セルの文字列
- ・テキストボックスの文字列
- ・画像の代替テキスト
- ・テーブルのテーブル名

として「CFV+ 変数名」を設定してください。

接頭辞「CFV」：先頭に半角大文字の「CFV」を付加することで変数宣言をします。

変数名：変数名としては任意の文字列を指定できますが、以下の制限があります。

- ・変数名に使用可能な文字は
半角英数字、記号、JIS 第 1 水準漢字、JIS 第 2 水準漢字のみです。
- ・変数名の文字数は 255 文字以内です。

3-2. セル変数

■セルの変数定義

〔帳票レイアウト〕シート上のセルの文字列に「CFV + 変数名」を設定することで、セルを変数として扱うことができます。

図：〔帳票レイアウト〕シート — セルの変数定義

	A	B	C
1			
2		■セルの変数定義	
3		CFVセル変数	
4			

変数定義されたセルには、マッピングされた入力データが出力されます。

図：Create!Form ランタイム出力結果 — セル変数

■セルの変数定義

入力データ

■セルの書式設定

セルに設定した書式設定は、〔かんたんレイアウト作成オプション資源変換〕の実行により、Create!Form ランタイムで出力可能なオブジェクト設定として反映されます。詳細は「2-3. セルの書式設定」をご覧ください。

図：[帳票レイアウト] シート — セルの書式設定

	A	B	C	D
1				
2		■罫線なし、塗りつぶしなし、フォント色黒		
3		CFVセル変数1		
4				
5		■実線、塗りつぶし(単色)、フォント色赤		
6				
7		CFVセル変数2		
8				

図：Create!Form ランタイム出力結果 — セルの書式設定

■罫線なし、塗りつぶしなし、フォント色黒

入力データ1

■実線、塗りつぶし(単色)、フォント色赤

入力データ2

<< 注意 >>

セル内の一部の文字列に対して設定した書式は、Create!Form のオブジェクト設定に反映されません。変換される設定は、セル自体を選択した状態で設定された書式のみです。

■セルの表示形式

Excel 上では、セルに表示形式が設定されている場合、セルの文字列が表示形式の設定に応じて加工された状態で表示されます。

[かんたんレイアウト作成オプション資源変換] では、セル変数に表示形式が設定されている場合、Create!Form のデータ編集機能として変換され、Create!Form ランタイム実行時に入力データが表示形式と同様の加工がされた状態で出力することが可能となります。

次の図では、[帳票レイアウト] シート上に表示形式を設定していないセル変数「CFV セル変数 1」と、表示形式を数値に設定したセル変数「CFV セル変数 2」を配置しています。

図：[帳票レイアウト] シート ― セルの表示形式

	A	B	C	D
1				
2		表示形式：標準	CFVセル変数1	
3		表示形式：数式 (桁区切り, 負数は-黒字)	CFVセル変数2	
4				

「CFV セル変数 1」と「CFV セル変数 2」に同じデータ「-12345」を出力すると、
「CFV セル変数 1」では入力データがそのまま出力され、「CFV セル変数 2」では登録されたデータ編集が適用された文字列が出力されます。

図：Create!Form ランタイム出力結果 ― データ編集

表示形式：標準	-12345
表示形式：数式 (桁区切り, 負数は-黒字)	-12, 345

セルの表示形式を Create!Form のデータ編集機能に変換するためには、あらかじめ変換規則を登録する必要があります。[かんたんレイアウト作成オプション資源変換] によるデータ編集への変換の詳細は、「4. 書式変換規則」をご覧ください。

<< 注意 >>

表示形式が適用されるのは、セル変数のみです。セルに入力された固定文字列には、表示形式は適用されません。固定文字列の場合には、表示形式は設定せず、表示したい文字列を直接入力してください。

■自動改行 / 流し込み出力

入力データがセルのサイズを超える文字数の場合には、[セルの書式設定ー配置] の設定により以下の通り出力されます。

- ・折り返して全体を表示する：セルの幅でテキストが折り返し出力されます（自動改行）
- ・縮小して全体を表示する：テキストの折り返しやフォントサイズの縮小によってセルのサイズに収まるよう調整して出力されます。（流し込み）

図：[帳票レイアウト] シート ― セルの書式設定（配置）

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		■折り返して全体を表示する			■縮小して全体を表示する		
3		CFVセル変数1			CFVセル変数2		
4							
5							

図：Create!Form ランタイム出力結果 ― セルの書式設定（配置）

■折り返して全体を表示する									
入力データ 1 2 3 4 5									
6 7 8 9 0									

■縮小して全体を表示する																			
入力データ 1 2 3 4 5 6 7 8 9																			
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3																			
4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7																			
8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0																			

■複数行マッピング

セル変数に複数行のデータをマッピングした場合、データが1行ごとにセルの高さで等間隔に出力されます。

図：[帳票レイアウト] シート ― セルの変数定義

	A	B	C
1			
2		CFVセル変数	
3			
4			
5			

[CSV 自動マッピング] で変数に複数行のデータをマッピングするには、[CSV 自動マッピング] ダイアログの [マッピング行数] を設定してください。次の図では、[マッピング行数] を3行に設定しています。

図：CSV 自動マッピングダイアログ — 複数行マッピング

帳票名: 04(セル変数:複数行)

CSV自動マッピングするファイル

フォームファイル: sample04.fmd

データマップファイル: sample04.dmp

CSV自動マッピングに使用するCSVファイル

CSVファイル: sample04.csv 新規作成

マッピング設定

ヘッダー行: 1行

マッピング行数: 3行

改ページ処理: 改ページコード 設定変更

☒ CSV自動マッピング完了後、DatamapIデーターで開く

OK キャンセル

セル変数に対して複数行マッピングした場合には、入力データが1行ずつセルの高さで等間隔に出力されます。

図：Create!Form ランタイム出力結果 — セル変数に3行分のデータを出力

入力データ1行目
入力データ2行目
入力データ3行目

3-3. テキストボックス変数

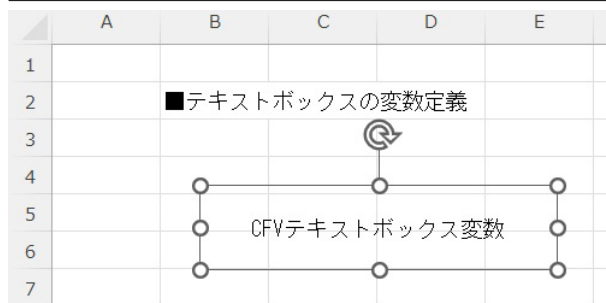
■テキストボックスの変数定義

「帳票レイアウト」シート上に挿入したテキストボックスは、文字列に「CFV + 変数名」を設定することで、変数として扱うことができます。

<< 注意 >>

グループ化されたテキストボックスは変換されません。

図：[帳票レイアウト] シート — テキストボックスの変数定義



変数定義されたテキストボックスには、マッピングされた入力データが出力されます。

図：Create!Form ランタイム出力結果 — テキストボックス変数

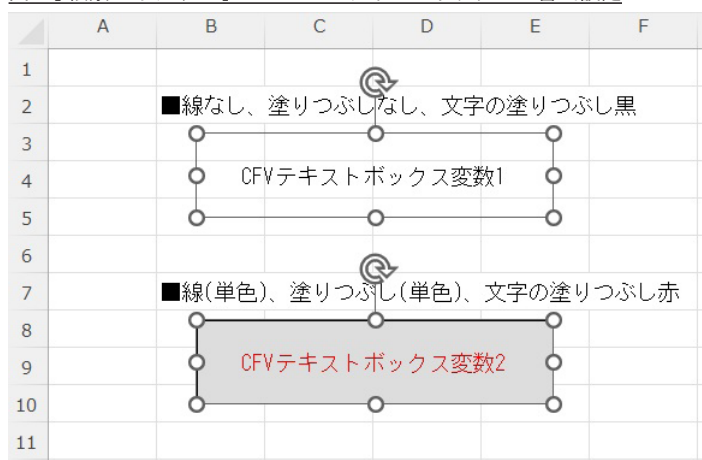
■テキストボックスの変数定義

入力データ

■テキストボックスの書式設定

テキストボックス変数に設定した図形の書式設定は、[かんたんレイアウト作成オプション資源変換] の実行により、Create!Form ランタイムで出力可能なオブジェクト設定として反映されます。詳細は「2-4. 図形の書式設定」をご覧ください。

図：[帳票レイアウト] シート — テキストボックスの書式設定



図：Create!Form ランタイム出力結果 ― テキストボックスの書式設定

■線なし、塗りつぶしなし、文字の塗りつぶし黒

入力データ1

■線(単色)、塗りつぶし(単色)、文字の塗りつぶし赤

入力データ2

<< 注意 >>

一つのテキストボックス内の文字列に複数の異なる書式が設定された場合、テキストボックスの先頭文字に設定された書式のみが反映されます。

■自動改行

入力データがテキストボックスの幅を超える文字数の場合には、自動的に折り返して出力されます。また、入力データが自動改行をしても、テキストボックスの領域を超える場合には、テキストボックス領域からはみ出して出力されます。

図：[帳票レイアウト] シート ― テキストボックスの変数定義

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		■幅を超える文字数			■領域を超える文字数		
3		CFVテキストボックス1			CFVテキストボックス2		
4							
5							
6							
7							

図：Create!Form ランタイム出力結果 ― テキストボックスの折り返し出力

■幅を超える文字数

入力データ 1 2 3
4 5 6 7 8 9 0

■領域を超える文字数

入力データ 1 2 3
4 5 6 7 8 9 0 1
2 3 4 5 6 7 8 9
0 1 2 3 4 5 6 7
8 9 0

■複数行マッピング

テキストボックス変数に複数行のデータをマッピングした場合、すべての行のデータがテキストボックスの定義領域に出力されます。

図：[帳票レイアウト]シートーテキストボックスの変数定義

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		■複数行出力			■領域を超える行数		
3		CFVテキストボックス1			CFVテキストボックス2		
4							
5							
6							
7							

図：Create!Form ランタイム出力結果 ― テキストボックス変数に複数行のデータを出力

■複数行出力

入力データ1行目
入力データ2行目
入力データ3行目

■領域を超える行数

入力データ1行目
入力データ2行目
入力データ3行目
入力データ4行目
入力データ5行目

3-4. 画像変数

■画像の変数定義

[帳票レイアウト]シート上のセルの上に配置された画像は、代替テキストに「CFV + 変数名」を設定することで、変数として扱うことができます。

図：[帳票レイアウト]シート ― 画像の変数定義



The screenshot shows an Excel spreadsheet with a grid from A1 to F12. A red rose image is placed in the center of the grid, spanning approximately from B4 to D8. A label '■画像の変数定義' with a pointer icon points to the image. To the right, a '代替テキスト' (Alternative Text) dialog box is open. The dialog box has a title bar with a checkmark and an 'X' button. The main text area contains the following text: '目の見えない人や視覚に障害がある人にこのオブジェクトとそのコンテキストをどのように説明しますか?' followed by a list of options: '- 対象の詳細情報', '- 設定', '- 操作や相互作用', and '- その他の関連情報'. Below this list, it says '(詳細な 1 - 2 文を推奨)'. The text field contains 'CFV画像'. At the bottom, there is a checkbox labeled '装飾用にする' with an information icon.

変数定義された画像には、マッピングされた入力データで指定された画像が出力されます。

図：Create!Form ランタイム出力結果 ― 画像変数

■ 画像の変数定義



<< 注意 >>

[かんたんレイアウト作成オプション資源変換] の実行により、Create!Form ランタイムで出力可能なオブジェクトとして変換される画像は、[帳票レイアウト] シート上で「セルの上に配置」された画像のみです。[帳票レイアウト] シート上で「セルに配置」（セル内に配置）された画像は変換されません。

<< 注意 >>

グループ化された画像は変換されません。

■ 画像の書式設定

画像変数に設定された書式設定（表示上の加工を含むすべての設定）は、Create!Form ランタイムで出力するオブジェクト設定には引き継がれません。入力データで指定された画像ファイルがそのまま出力されます。詳細は「2-5. 図形の書式設定（画像）」をご覧ください。

3-5. テーブル変数

■ テーブルの変数定義

[帳票レイアウト] シート上に挿入したテーブルは、テーブル名に「CFV + 変数名」を設定することで、変数として扱うことができます。

図：[帳票レイアウト] シート ― テーブルの変数定義

図は Excel の「帳票レイアウト」シート上で「テーブルの変数定義」を行う様子を示しています。

上部の「テーブル名」欄に「CFVテーブル」と入力されていることが確認できます。

下部には、変数定義されたテーブルが配置されています。テーブルのヘッダ行には「列1」から「列5」までの変数名が設定されています。

	列1	列2	列3	列4	列5
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

変数定義されたテーブルは、入力データの行数に応じて、テーブルサイズが自動的に調整されます。

〔帳票レイアウト〕シート上のテーブル定義行数よりも入力データ行数が多い場合には、テーブルサイズが拡張して出力されます。

図：Create!Form ランタイム出力結果 ― テーブル変数（入力データ 5 行の場合）

■テーブルの変数定義

列1	列2	列3	列4	列5
1行目	xxx	xxx	xxx	100
2行目	xxx	xxx	xxx	100
3行目	xxx	xxx	xxx	100
4行目	xxx	xxx	xxx	100
5行目	xxx	xxx	xxx	100

また、〔帳票レイアウト〕シート上のテーブル定義行数よりも入力データ行数が少ない場合には、テーブルサイズが縮小して出力されます。

図：Create!Form ランタイム出力結果 ― テーブル変数（入力データ 2 行の場合）

■テーブルの変数定義

列1	列2	列3	列4	列5
1行目	xxx	xxx	xxx	100
2行目	xxx	xxx	xxx	100

<< 注意 >>

テーブルは必ず変数定義する必要があります。

固定サイズの表を出力する場合には、Excel のテーブル機能は使用せずに、セルの罫線を利用してください。

■テーブルスタイル

Excel に登録されたテーブルスタイルは使用することができません。

かんたんレイアウト作成オプションの Excel テンプレートにあらかじめ用意されたテーブルスタイル「Create!FormTable」を利用するか、テーブルスタイル「なし」を選択し、セルの書式設定でテーブルの罫線や背景色をデザインしてください。

■テーブル構成

テーブルには、入力データを出力するデータ行のほかに、見出し行、集計行を出力することができます。見出し行と集計行は、テーブルスタイルオプションで ON/OFF を切り替えることができます。

図：[帳票レイアウト] シート — テーブル構成

テーブル名: CFVテーブル		ピボットテーブルで集計	スライサーの挿入	エクスポート	更新	プロパティ	☒ 見出し行	☐ 最初の列	☒ フ
テーブルのサイズ変更		重複の削除	範囲に変換	外部のテーブルデータ	リンク解除	ブラウザーで開く	☒ 集計行	☐ 最後の列	
ツール		外部のテーブルデータ		テーブルスタイルのオプション					

B3	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		■テーブル構成							
3		列1	列2	列3	列4	列5	見出し行		
4						10			
5						10	データ行		
6						10			
7		集計				30	集計行		
8									

[データ行]

テーブルデータ行のセルには、マッピングされた入力データが出力されます。

[帳票レイアウト] シート上では、セルの書式設定の視覚的確認のため、データ行のセルに任意の文字列を設定しておくことができますが、Create!Form ランタイム実行時には入力データの値が出力されるため、ご注意ください。

[見出し行]

テーブル見出し行のセルには、列名を固定文字列でのみ設定することができます。

[集計行]

テーブル集計行のセルには、固定文字列またはテーブル列の集計値を出力することができます。集計値出力の設定に関する詳細は、「3-6. テーブル集計」をご覧ください。

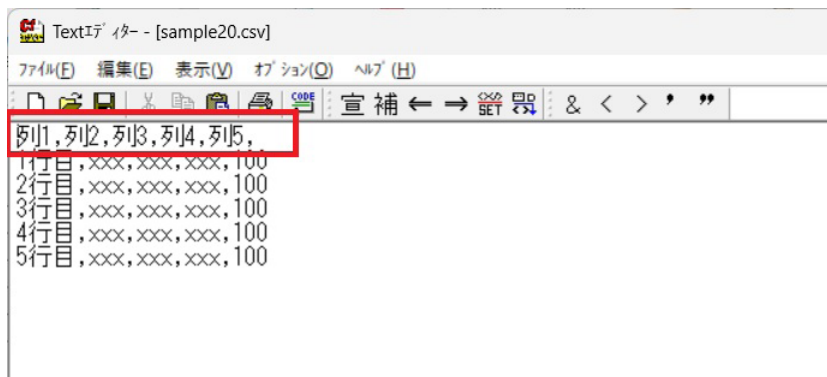
■ テーブル変数のマッピング

テーブル変数の CSV 自動マッピングでは、テーブル列名ごとにデータとマッピングを行います。テーブル列名を変数名として CSV 自動マッピング用の CSV ファイルを用意してください。

図：[帳票レイアウト] シート — テーブル列名

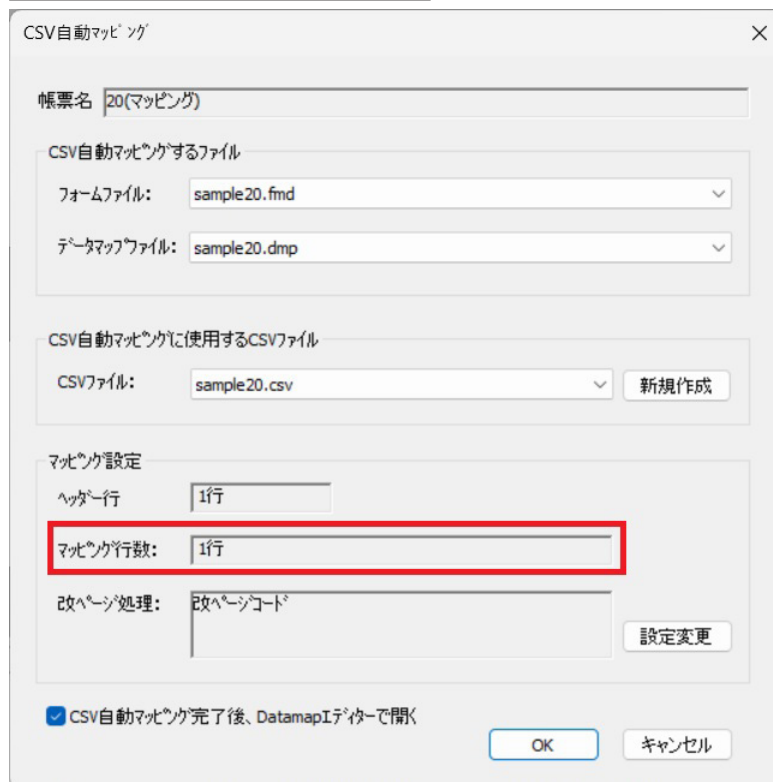
	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		■テーブルマッピング					
3		列1	列2	列3	列4	列5	
4							
5							
6							
7							

図：CSV 自動マッピング用の CSV ファイル — テーブル列名



テーブル列名が登録された CSV ファイルを使用して CSV 自動マッピングを行います。
 なお、テーブル変数は入力データの全行にマッピングされるため、CSV 自動マッピングのマッピング行数は適用されません。

図：CSV 自動マッピング — マッピング行数



CSV 自動マッピング後に起動する Datamap エディタでは、次の図の通り、テーブル変数がテーブル列名にマッピングされることを確認できます。

図：CSV 自動マッピング後の Datamap エディタによるマッピング確認 — テーブル列名

変数名	種別	属性	行	項目番号	行数	項目数	ヘッダー出力範囲	集計
テーブル	表		1	1	100	5		
変数名								
1行目								
2行目								
3行目								
4行目								
5行目								

■テーブル変数による複数ページ出力

テーブル変数には入力データの全行が出力されるため、1 ページ内にテーブルが収まらない場合には2 ページ目以降に継続して出力されます。

図：「帳票レイアウト」シート — 複数ページ出力

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		■複数ページ出力					
3		列1	列2	列3	列4	列5	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							

図 : Create!Form ランタイム出力結果 ー 複数ページ出力

■複数ページ出力

列1	列2	列3	列4	列5
1行目	xxx	xxx	xxx	100
2行目	xxx	xxx	xxx	100
3行目	xxx	xxx	xxx	100
4行目	xxx	xxx	xxx	100
5行目	xxx	xxx	xxx	100
6行目	xxx	xxx	xxx	100
7行目	xxx	xxx	xxx	100
8行目	xxx	xxx	xxx	100
9行目	xxx	xxx	xxx	100
10行目	xxx	xxx	xxx	100
11行目	xxx	xxx	xxx	100
12行目	xxx	xxx	xxx	100
13行目	xxx	xxx	xxx	100
14行目	xxx	xxx	xxx	100

列1	列2	列3	列4	列5
15行目	xxx	xxx	xxx	100
16行目	xxx	xxx	xxx	100
17行目	xxx	xxx	xxx	100
18行目	xxx	xxx	xxx	100
19行目	xxx	xxx	xxx	100
20行目	xxx	xxx	xxx	100

■テーブル領域外のオブジェクト出力：1 ページ目のみ / 最終ページ出力

入力データ量に応じて複数ページが出力される場合、テーブル変数以外のオブジェクトは次の通り出力されます。

- ・テーブル変数の上に配置されたオブジェクト：1 ページ目のみに出力されます
- ・テーブル変数の下に配置されたオブジェクト：最終ページのみ出力されます

図：[帳票レイアウト] シート — テーブル領域外オブジェクト

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		■ 1 ページ目のみに出力					
3		列1 ▼	列2 ▼	列3 ▼	列4 ▼	列5 ▼	
4						10	
5						10	
6						10	
7						10	
8						10	
9						10	
10						10	
11						10	
12						10	
13						10	
14						10	
15		集計				110	
16		■ 最終ページのみに出力					
17							

図 : Create!Form ランタイム出力結果 ― テーブル領域外オブジェクト

■ 1 ページ目のみに出力				
列1	列2	列3	列4	列5
1行目	xxx	xxx	xxx	100
2行目	xxx	xxx	xxx	100
3行目	xxx	xxx	xxx	100
4行目	xxx	xxx	xxx	100
5行目	xxx	xxx	xxx	100
6行目	xxx	xxx	xxx	100
7行目	xxx	xxx	xxx	100
8行目	xxx	xxx	xxx	100
9行目	xxx	xxx	xxx	100
10行目	xxx	xxx	xxx	100
11行目	xxx	xxx	xxx	100
12行目	xxx	xxx	xxx	100
13行目	xxx	xxx	xxx	100
14行目	xxx	xxx	xxx	100

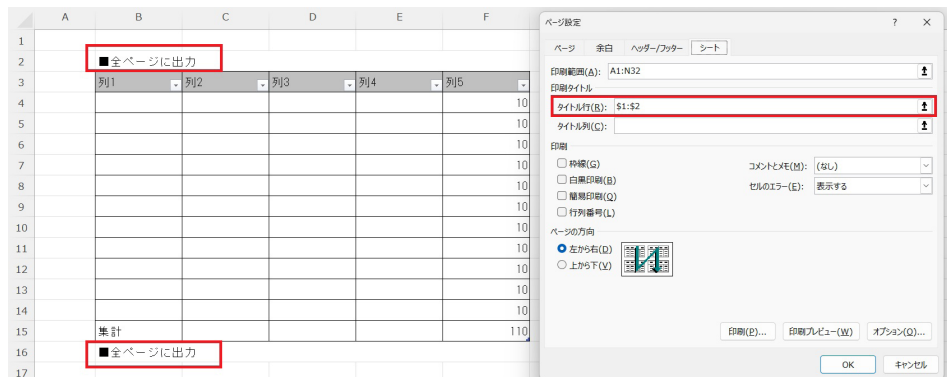
列1	列2	列3	列4	列5
15行目	xxx	xxx	xxx	100
16行目	xxx	xxx	xxx	100
17行目	xxx	xxx	xxx	100
18行目	xxx	xxx	xxx	100
19行目	xxx	xxx	xxx	100
20行目	xxx	xxx	xxx	100
集計				2000

■ 最終ページのみに出力				
--------------	--	--	--	--

■テーブル領域外のオブジェクト出力：全ページ出力

テーブル変数の上の領域全体が印刷タイトル行に設定されている場合、テーブル範囲外のオブジェクトは全ページに出力されます。

図：「帳票レイアウト」シート — テーブル領域外オブジェクト（全ページ出力）



図：Create!Form ランタイム出力結果 — テーブル領域外オブジェクト（全ページ出力）

■全ページに出力				
列1	列2	列3	列4	列5
1行目	xxx	xxx	xxx	100
2行目	xxx	xxx	xxx	100
3行目	xxx	xxx	xxx	100
4行目	xxx	xxx	xxx	100
5行目	xxx	xxx	xxx	100
6行目	xxx	xxx	xxx	100
7行目	xxx	xxx	xxx	100
8行目	xxx	xxx	xxx	100
9行目	xxx	xxx	xxx	100
10行目	xxx	xxx	xxx	100
11行目	xxx	xxx	xxx	100
12行目	xxx	xxx	xxx	100
■全ページに出力				

■全ページに出力				
列1	列2	列3	列4	列5
13行目	xxx	xxx	xxx	100
14行目	xxx	xxx	xxx	100
15行目	xxx	xxx	xxx	100
16行目	xxx	xxx	xxx	100
17行目	xxx	xxx	xxx	100
18行目	xxx	xxx	xxx	100
19行目	xxx	xxx	xxx	100
20行目	xxx	xxx	xxx	100
集計				2000
■全ページに出力				

■制限事項

- ・[帳票レイアウト] シート上に配置できるテーブル変数は1つのみです。
- ・テーブル変数を含む帳票では、[かんたんレイアウト作成オプション資源変換] を実行した後、必ず CSV 自動マッピングを行ってください。

3-6. テーブル集計値

〔帳票レイアウト〕シート上にテーブル変数が配置されている場合、テーブルデータ行を集計対象とした数式が設定されているセルには、Create!Form ランタイム実行によってテーブルデータ行に出力されるデータを集計対象とした集計値を出力することができます。

集計値を出力できるのは〔帳票レイアウト〕シート上の以下のセルです。

- ・ テーブル集計行のセル
- ・ テーブル外のセル

<< 注意 >>

テーブル見出し行とテーブルデータ行に集計値を出力することはできません。

図：〔帳票レイアウト〕シート ― テーブル集計値（集計行）

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		■テーブル集計値（集計行）					
3		列1	列2	列3	列4	列5	
4						10	
5						10	
6						10	
7						10	
8						10	
9						10	
10						10	
11						10	
12						10	
13						10	
14						10	
15						10	
16		集計				=SUBTOTAL(109,[列5])	
17							

図：Create!Form ランタイム出力結果 ― テーブル集計値（集計行）

■テーブル集計値（集計行）				
列1	列2	列3	列4	列5
1行目	xxx	xxx	xxx	100
2行目	xxx	xxx	xxx	100
3行目	xxx	xxx	xxx	100
4行目	xxx	xxx	xxx	100
5行目	xxx	xxx	xxx	100
6行目	xxx	xxx	xxx	100
7行目	xxx	xxx	xxx	100
8行目	xxx	xxx	xxx	100
9行目	xxx	xxx	xxx	100
10行目	xxx	xxx	xxx	100
集計				1000

図：「帳票レイアウト」シート ― テーブル集計値（テーブル外のセル）

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		■テーブル集計値（テーブル外のセル）				=SUM(CFVテーブル[列5])	
3							
4		列1	列2	列3	列4	列5	
5						10	
6						10	
7						10	
8						10	
9						10	
10						10	
11						10	
12						10	
13						10	
14						10	
15						10	
16						10	
17							

図：Create!Form ランタイム出力結果 ― テーブル集計値（テーブル外のセル）

■テーブル集計値（テーブル外のセル）					1000
列1	列2	列3	列4	列5	
1行目	xxx	xxx	xxx		100
2行目	xxx	xxx	xxx		100
3行目	xxx	xxx	xxx		100
4行目	xxx	xxx	xxx		100
5行目	xxx	xxx	xxx		100
6行目	xxx	xxx	xxx		100
7行目	xxx	xxx	xxx		100
8行目	xxx	xxx	xxx		100
9行目	xxx	xxx	xxx		100
10行目	xxx	xxx	xxx		100

■変換対象：Excel 関数

テーブルデータ行を集計対象とする数式には、以下の Excel 関数を使用できます。

- ・SUM（テーブル列名）：テーブルデータ行の指定列に含まれる数値の合計
- ・AVERAGE（テーブル列名）：テーブルデータ行の指定列に含まれる数値の平均値
- ・COUNTA（テーブル列名）：テーブルデータ行の指定列で、空白でないセルの個数
- ・SUBTOTAL（101, テーブル列名）：AVERAGE 関数と同様
- ・SUBTOTAL（103, テーブル列名）：COUNTA 関数と同様
- ・SUBTOTAL（109, テーブル列名）：SUM 関数と同様

<< 注意 >>

関数の引数には、テーブル列名のみ指定することができます。

関数の引数として、セルの範囲やテーブル外のセル、複数のテーブル列などが設定されている場合には、変換対象外となります。

■変換対象：演算

テーブル集計値を設定するセルの数式には、集計値同士、または固定数値を用いた四則演算を含めることもできます。

図：「帳票レイアウト」シートー 演算

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		■テーブル集計値（演算）				=SUM(CFVテーブル[列5])*1.1	
3							
4		列1	列2	列3	列4	列5	
5						10	
6						10	
7						10	
8						10	
9						10	
10						10	
11						10	
12						10	
13						10	
14						10	
15						10	
16						10	
17							

図：Create!Form ランタイム出力結果ー 演算

■テーブル集計値（演算）

1100

列1	列2	列3	列4	列5
1行目	xxx	xxx	xxx	100
2行目	xxx	xxx	xxx	100
3行目	xxx	xxx	xxx	100
4行目	xxx	xxx	xxx	100
5行目	xxx	xxx	xxx	100
6行目	xxx	xxx	xxx	100
7行目	xxx	xxx	xxx	100
8行目	xxx	xxx	xxx	100
9行目	xxx	xxx	xxx	100
10行目	xxx	xxx	xxx	100

<< 注意 >>

テーブル集計値を含まない数式は変換対象外となります。

<< 注意 >>

数式に設定する演算対象はテーブル集計値と固定数値のみです。

テーブル集計以外の Excel 関数や、他セルの参照などが含まれている場合には変換対象外となります。

4. 書式変換規則

4-1. 書式変換シート [Create!FormKLS]

〔帳票レイアウト〕シート上の設定を、〔かんたんレイアウト作成オプション資源変換〕の実行により、Create!Form ランタイムで出力可能なオブジェクト設定に変換する際、以下の設定は変換規則を登録しておくことができます。

- ・ フォント（セルの書式設定、テキストボックス）
- ・ 表示形式（セルの書式設定）

変換規則は、“（ 導入ディレクトリ ）/conf/private/cls” 内に配置された Excel ファイル “default.xlsx” の、[Create!FormKLS] シートに登録をします。

図：[Create!FormKLS] シート

	A	B	C	D
1	フォント変換テーブル[Create!FormFontTable]		表示形式変換テーブル[Create!FormFmTable]	
2	テーブル内のセルに設定された【フォント】をセルに入力された【Create!Formフォント】に変換します セル文字列の先頭にはCreate!Formに登録された3桁のフォント番号を入力してください		テーブル内のセルに設定された【表示形式】をセルに入力された【Create!Formデータ編集】に変換します セルにはCreate!Formに登録されたデータ編集のタイトルを入力してください	
3	900(MS 明朝)		1235(整数)	
4	908(MS ゴシック)		1234.6(小数1桁)	
5	300(MS P明朝)		1234.57(小数2桁)	
6	304(MS Pゴシック)		1,235(整数)	
7	308(HGP 画角ゴシック)		1,234.6(小数1桁)	
8	312(HGP 行書体)		1,234.57(小数2桁)	
9	400(Arial)		-1234→△1,234	
10	404(Courier New)		-1234→▲1,234	
11	408(Times New Roman)		1234→¥1,234	
12	412(SimSun)		1998/05/01→1998年5月1日	
13			1998/05/01→平成10年5月1日	
14			1998/05/01→1998年5月	
15			1998/05/01→5月1日	
16			13:05:05→13時05分	
17			13:05:05→13時05分05秒	

4-2. フォント変換テーブル [Create!FormFontTable]

書式変換シート [Create!FormKLS] 内のフォント変換テーブル [Create!FormFontTable] には、〔帳票レイアウト〕シート上で設定されたフォントを、Create!Form ランタイムで出力するフォントに変換するための規則を登録することができます。

フォント変換テーブル [Create!FormFontTable] 内のセルに変換規則を登録したいフォントを設定し、セル文字列の先頭には Create!Form に登録された 3 桁のフォント番号を入力してください。

次の図は、〔帳票レイアウト〕シート上で設定されたフォント「MS 明朝」を、Create!Form のフォント番号 900 番に変換するための登録例です。

この設定により、[Create!FormFontTable] シートに設定されたフォント「MS 明朝」と、Create!Form のフォント番号 900 番のフォント「MS 明朝」が紐づけられます。〔帳票レイアウト〕シートのセルにフォント「MS 明朝」を設定すると、Create!Form ランタイムは紐づけられた 900 番のフォント「MS 明朝」を使用して出力を行います。

図：[Create!FormKLS] シート — [Create!FormFontTable] フォント変換登録例

A	B	C
1	フォント変換テーブル[Create!FormFontTable]	表示形式変換テーブル[Create!FormEFmTable]
2	テーブル内のセルに設定された【フォント】をセルに入力された【Create!Formフォント】に変換します。セル文字列の先頭にはCreate!Formに登録された3桁のフォント番号を入力してください。	テーブル内のセルに設定された【表示形式】をセルに入力された【Create!Formデータ編集】に変換します。セルにはCreate!Formに登録されたデータ編集のタイトルを入力してください。
3	900(MS 明朝)	1235(整数)
4	908(MS ゴシック)	1234.6(小数1桁)
5	300(MS P明朝)	1234.57(小数2桁)
6	304(MS Pゴシック)	1,235(整数)
7	308(HGP創英角ゴ7体)	1,234.6(小数1桁)
8	312(HGP行書体)	1,234.57(小数2桁)
9	400(Arial)	-1234→△1,234
10	404(Courier New)	-1234→▲1,234
11	408(Times New Roman)	1234→¥1,234

3桁のフォント番号の後には必要に応じて情報を追加することもできます。

図：Create!Formのフォント（フォントマネージャー）

フォントマネージャー

ランタイム種別: Last

フォント一覧表

番号	フォント名	置換設定変更	向き	属性
900	MS 明朝		横	固定
908	MS ゴシック		横	固定
300	MS P明朝(埋め込み)		横	埋め込み
304	MS Pゴシック(埋め込み)		横	埋め込み
308	HGP創英角ゴ7体(埋め込み)		横	埋め込み
312	HGP行書体(埋め込み)		横	埋め込み
400	Arial(埋め込み)		横	埋め込み
404	Courier New(埋め込み)		横	埋め込み
408	Times New Roman(埋め込み)		横	埋め込み
412	SimSun(埋め込み)		横	埋め込み
416	MingLiU(埋め込み)		横	埋め込み
420	DotMatrix(埋め込み)		横	埋め込み

追加(A) 削除(D) 編集(E) 置換設定(C) 置換一覧(V)

保存(S) 再読込(R) 終了(E)

Create!Formのフォント登録と3桁のフォント番号に関しては、オンラインマニュアル「3.6: フォントの指定・多国語出力」—「フォント」—「2-2-1. フォントマネージャーによるフォント登録」をご覧ください。

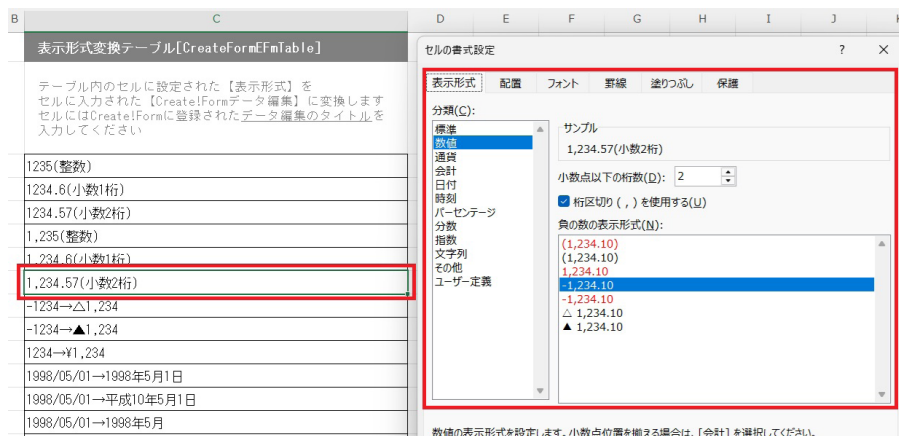
4-3. 表示形式変換テーブル [Create!FormEFmTable]

書式変換シート [Create!FormKLS] 内の表示形式変換テーブル [Create!FormEFmTable] には、[帳票レイアウト] シート上のセル変数に設定された表示形式を、Create!Formランタイムで出力するデータ編集機能に変換するための規則を登録することができます。表示形式変換テーブル [Create!FormEFmTable] 内のセルに変換規則を登録したい表示形式を設定し、セル文字列にはCreate!Formに登録されたデータ編集のタイトルを入力してください。

次の図は、[帳票レイアウト] シート上のセル変数に設定された表示形式「数値 - 小数点以下 2 桁 - 桁区切り (,)」を使用する - 負の数の表示形式 (- 黒字)」を、Create!Form のデータ編集「1, 234. 57 (小数 2 桁)」に変換するための登録例です。

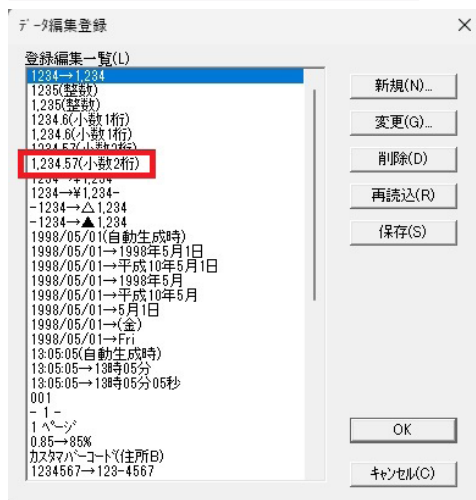
この設定により、[Create!FormEfMTable] シートに設定された表示形式「1, 234. 57 (小数 2 桁)」と、Create!Form のデータ編集「1, 234. 57 (小数 2 桁)」が紐づけられます。[帳票レイアウト] シートのセルに表示形式「1, 234. 57 (小数 2 桁)」を設定すると、Create!Form ランタイムは紐づけられたデータ編集「1, 234. 57 (小数 2 桁)」の表示形式で出力を行います。

図 : [Create!FormKLS] シート — [Create!FormEfMTable] 表示形式変換登録例



セル文字列には、データ編集のタイトルのみを入力してください。なお、Excel 表示上では、表示形式が適用されてデータ編集のタイトルと異なる文字列が表示される場合がありますが、セルの値としてデータ編集のタイトルが入力されていれば問題ありません。

図 : Create!Form の表示形式 (データ編集)



Create!Form のデータ編集登録とデータ編集のタイトルに関しては、オンラインマニュアル「3.4: 集計値の表示とデータ編集」—「データ編集」—「2-1. データ編集項目の作成と登録」をご覧ください。

4-4. 書式変換シート [Create!FormKLS] の指定

実行プログラム “office2frm.exe” を使用した [かんたんレイアウト作成オプション資源変換] では、書式変換シート [Create!FormKLS] が含まれた Excel ファイルを “-Ks” オプションで指定することができます。

■実行オプション

-Ks [Create!FormKLS] が含まれた Excel ファイル名

以下は実行プログラム呼び出し例です。

```
office2frm.exe -DC:%ProgramData%\Infotec\CreateForm¥12¥work¥sample¥16_KLS -sP01_
list.sty -Ksdefault.xlsx C:%ProgramData%\Infotec\CreateForm¥12¥work¥sample¥16_KLS¥
form¥P01_list_kls¥P01_list.xlsx
```

<< 注意 >>

[Create!FormKLS] が含まれた Excel ファイルは必ず “(導入ディレクトリ)/conf/private/kls” 内に配置してください。

<< 注意 >>

帳票開発環境においてマネージャー上で [かんたんレイアウト作成オプション資源変換] を実行する場合には、“(導入ディレクトリ)/conf/private/kls” 内に配置された “default.xlsx” が使用され、他のファイルを指定することはできません。

5. 制限事項

- ・ Excel テンプレートの対応バージョンは以下の通りです
Microsoft Excel 2016/2019/2024
Microsoft Office 365 (デスクトップ版)
- ・ Excel テンプレートの拡張子 xlsx (xls は対象外です)
- ・ Excel テンプレートのファイル名は拡張子を含めて 128 文字以内です
- ・ 同名の変数オブジェクトを配置することはできません
- ・ 変数オブジェクト名の文字数は接頭辞「CFV」を除いて 255 文字以内です
- ・ 変数オブジェクト名に使用可能な文字は、半角英数字、記号、JIS 第 1 水準漢字、JIS 第 2 水準漢字のみです
- ・ CFV から始まる固定文字列は出力できません
- ・ 固定文字列の変換には、JIS X 0213:2004 (JIS2004) 文字に対応していません。固定文字列に使用可能な文字は、半角英数カナ、記号、英数字、かな、JIS 第 1 水準漢字、JIS 第 2 水準漢字のみです。
- ・ [帳票レイアウト] シートに配置したグラフ、コントロール、ヘッダー、フッター、対応外の図形描画などは出力されません

Create!Form 12

かんたんレイアウト作成オプション Excel テンプレート 第1版

発行日	2026年5月
発行者	インフォテック株式会社